

令和5年度 2学期 学校経営方針

五島市立富江小学校
校長 坂本 憲司

1学期の反省を踏まえて

令和5年度	学校教育目標	豊かな未来を拓く	児童の育成																																																																																																							
☆ 1学期を振り返って … 学校全体が、一段階、ステップアップした！																																																																																																										
○「みんながつながり、安心して学べる」という「当たり前」のことが、「普通」になりつつある。 ●課題はあるが、全体的に向上している。自信と手応えを胸に、個別対応に当たろう！																																																																																																										
学力	学校評価	学校生活満足度																																																																																																								
<p>1. 全学・県学の結果(ポイント差) ※県学の善戦、全学も改善</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>全学</th> <th>国</th> <th>県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算</td> <td>-12.0</td> <td>-13.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>-10.0</td> <td>-12.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>算</td> <td>-9.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>+0.1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>算</td> <td>+2.9</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 市販テスト結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>3～6年</th> <th>国語</th> <th>算数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均</td> <td>81.6</td> <td>80.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>平均 80点以下の実態</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>18名</td> <td>(25.7%)</td> </tr> <tr> <td>算数</td> <td>41名</td> <td>(58.6%)</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>29名</td> <td>(41.4%)</td> </tr> </tbody> </table>	全学	国	県	全国	算	-12.0	-13.2		理	-10.0	-12.5		算	-9.0			国	+0.1			算	+2.9			3～6年	国語	算数	平均	81.6	80.5		人数	割合	国語	18名	(25.7%)	算数	41名	(58.6%)	理科	29名	(41.4%)	<p>1. 全体的に概ね良好・向上</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習意欲</td> <td>3.12</td> <td>3.41</td> <td>3.57</td> </tr> <tr> <td>朝晩・夜活</td> <td>3.41</td> <td>3.49</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>友達関係</td> <td>3.55</td> <td>3.47</td> <td>3.93</td> </tr> <tr> <td>行事参加</td> <td>3.51</td> <td>3.57</td> <td>3.64</td> </tr> <tr> <td>規範意識</td> <td>3.35</td> <td>3.24</td> <td>3.64</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 課題 (3.1を下回る)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>読書</td> <td>2.95</td> <td>2.57</td> <td>3.14</td> </tr> <tr> <td>家庭学習</td> <td>3.19</td> <td>3.09</td> <td>3.43</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>3.25</td> <td>3.11</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table>		児童	保護者	教員	学習意欲	3.12	3.41	3.57	朝晩・夜活	3.41	3.49	3.5	友達関係	3.55	3.47	3.93	行事参加	3.51	3.57	3.64	規範意識	3.35	3.24	3.64		児童	保護者	教員	読書	2.95	2.57	3.14	家庭学習	3.19	3.09	3.43	英語	3.25	3.11	3.0	<p>1. 学校生活アンケート</p> <p>Q: 1学期の学校生活は?</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①楽しい</td> <td>62名</td> <td>(64.6%)</td> </tr> <tr> <td>②わりと</td> <td>29名</td> <td>(30.2%)</td> </tr> <tr> <td>③あまり</td> <td>4名</td> <td>(4.2%)</td> </tr> <tr> <td>④全く</td> <td>1名</td> <td>(1.0%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○「楽しい+わりと」 ●「あまり+全く」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>楽しい</th> <th>楽しくない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○91名 (94.8%)</td> <td>●5名 (5.2%)</td> </tr> <tr> <td>・R4比+6.3</td> <td>・R4比-6.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 「hyper-QU」における「学校生活不満足群」の減少</p>		回答	人数	割合	①楽しい	62名	(64.6%)	②わりと	29名	(30.2%)	③あまり	4名	(4.2%)	④全く	1名	(1.0%)	楽しい	楽しくない	○91名 (94.8%)	●5名 (5.2%)	・R4比+6.3	・R4比-6.3
全学	国	県	全国																																																																																																							
算	-12.0	-13.2																																																																																																								
理	-10.0	-12.5																																																																																																								
算	-9.0																																																																																																									
国	+0.1																																																																																																									
算	+2.9																																																																																																									
3～6年	国語	算数																																																																																																								
平均	81.6	80.5																																																																																																								
	人数	割合																																																																																																								
国語	18名	(25.7%)																																																																																																								
算数	41名	(58.6%)																																																																																																								
理科	29名	(41.4%)																																																																																																								
	児童	保護者	教員																																																																																																							
学習意欲	3.12	3.41	3.57																																																																																																							
朝晩・夜活	3.41	3.49	3.5																																																																																																							
友達関係	3.55	3.47	3.93																																																																																																							
行事参加	3.51	3.57	3.64																																																																																																							
規範意識	3.35	3.24	3.64																																																																																																							
	児童	保護者	教員																																																																																																							
読書	2.95	2.57	3.14																																																																																																							
家庭学習	3.19	3.09	3.43																																																																																																							
英語	3.25	3.11	3.0																																																																																																							
回答	人数	割合																																																																																																								
①楽しい	62名	(64.6%)																																																																																																								
②わりと	29名	(30.2%)																																																																																																								
③あまり	4名	(4.2%)																																																																																																								
④全く	1名	(1.0%)																																																																																																								
楽しい	楽しくない																																																																																																									
○91名 (94.8%)	●5名 (5.2%)																																																																																																									
・R4比+6.3	・R4比-6.3																																																																																																									
<p>○ 授業が「当たり前」に行われている。市販テストの向上。</p> <p>○ 県学の善戦。</p> <p>○ 全学も、昨年度に比べて県との差が縮まっている。</p> <p>◎ 12月実施のCRT検査を意識して授業を行う。 →日々の授業の積み重ね</p>	<p>○ 前年度よりも向上。 ・学校生活満足度に直結する項目が改善されている。</p> <p>● 読書の楽しさを実感させる →言語力、読解力向上が必要</p> <p>● 家庭学習の質の向上 →学習状況をメタ認知させ、内容を「調整」させる。</p>	<p>◎ 「学校が楽しい」群が、昨年度より6.3ポイント向上。</p> <p>◎ 6年生の「hyper-QU」における変化 ・「友達関係」「学級の雰囲気」が改善。「学習意欲」が低下。 ※「分かる・できる」授業の必要性</p>																																																																																																								
☆研究内容を一言でいうと? → 不適応要因を分析し、アセスメントして、丁寧に対応したこと																																																																																																										
授業改善	「総合・行事」・常時活動	健康・安全																																																																																																								
<p>1. 市販テスト80点に届かない子供の底上げ</p> <p>2. 子供に思考させる授業</p> <p>(1)「教え込む」意識を捨てる ①説明の言葉を削る ②作業を通して理解させる</p> <p>(2)学習意欲を引き出す「めあて・発問」</p> <p>(3)「見方・考え方」を働かせて考える</p> <p>(4)自分の考えを書く ①子供に自らの学習状況を自己評価(メタ認知)させる ②自らの学習を「調整」 →家庭学習の質の向上</p> <p>3. 子供の学習状況をしっかり確認(評価の工夫)</p>	<p>1. 「総合・行事」で育てたい力(修学旅行・小体連・小音会・校外学習等) ◎主体性：自らの判断・責任</p> <p>①課題解決力：何が問題か? ②やり抜く力：不都合にくじげない ③表現力：考えや思いを表現 ④活用力：次に生かす</p> <p>2. 常時活動で育てたい力 (1)「言葉の力」を育てる ①発達段階に応じた読書 ②暗唱の取組 ③「書く活動」の推進 等 (2)清掃指導の充実 ①場を浄める意識 ②勤労意識・責任感</p> <p>3. 地域連携 (1)ふるさと教育の推進</p>	<p>1. 熱中症対策 (1)熱中症警戒アラートに基づいた活動判断 (2)屋外での帽子着用の徹底 (3)水分補給</p> <p>2. 感染症対策 (1)手洗い・うがい・換気の徹底 (2)必要に応じた消毒の実施 ・例：教室内で熱発等の患者が出た場合</p> <p>3. 体力の向上 (1)基本的な生活習慣の定着 (2)ブルーラインマラソンに8割以上の参加を目指す。 →体育授業での取組を中心に、無理なく体力向上を図る</p>																																																																																																								
<p>4. chromebookの有効活用(「道具」として使いこなす)</p> <p>5. 脳科学に基づき、「前頭前野」を鍛える(認知機能の向上) ↔ ゲーム・メディア依存対策</p> <p>6. 特別支援教育の推進…研究と連動し、家庭、関係機関との連携を更に深める。</p>																																																																																																										